

お知らせ



記者発表日

平成31年3月25日

■同時発表先： 合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

「真備緊急治水対策プロジェクト」の 具体的な行動計画（アクションプラン）を決定しました。

国土交通省と岡山県、倉敷市では、平成31年1月29日に「水防災意識社会」の再構築に向けて改定された緊急行動計画に基づき、国、岡山県、倉敷市の3者により、緊急的に実践する「真備緊急治水対策プロジェクト」を2月8日に公表しました。

このたび、各関係機関の具体的な役割分担や実施時期を定めた行動計画（アクションプラン）を決定しました。

この行動計画（アクションプラン）に基づき、倉敷市真備地区における防災・減災の取組を、関係機関が連携・協力して、さらに加速していきます。

※行動計画（アクションプラン）とは、「真備緊急治水対策プロジェクト」の取組を「いつ」、「だれが」、「なにを」実施するかを定めたものです。

【問い合わせ先】

〈国土交通省に関すること〉

中国地方整備局 河川部

河川調査官 山内洋志（内線3513） 代表 082(221)9231（全般）

河川計画課長 和田紘希（内線3611）（ハード対策）

岡山河川事務所

総括保全対策官 大賀祥一（内線308） 代表 086(223)5101（ソフト対策）

〈広報担当窓口〉 中国地方整備局

広報広聴対策官 岩下恭久（内線2117） 企画部 環境調整官 井上和久（内線3114）

〈岡山県に関すること〉 岡山県 土木部 河川課

治水班 総括主幹 黒原敏孝（内線3475） 直通：086(226)7480（ハード対策）

水政班 総括主幹 臼井宏治（内線3479）（ソフト対策）

〈倉敷市に関すること〉 倉敷市

建設局 災害復興推進室 室長 堀越信宏（内線3460） 直通：086(426)3460（ハード対策）

総務局 防災危機管理室 参事 片山隆司（内線3131） 直通：086(426)3131（ソフト対策）

「真備緊急治水対策プロジェクト」の行動計画(アクションプラン)の概要

「真備緊急治水対策プロジェクト」は、平成30年7月豪雨災害により明らかとなった様々な課題に対し、社会資本整備審議会がとりまとめた答申等を踏まえ「水防災意識社会」の再構築に向け改定された「緊急行動計画」に基づき、国、岡山県、倉敷市の3者が策定したものであり、このたび決定した具体的な行動計画に基づき、倉敷市真備地区における防災・減災の取組を、さらに加速していきます。

真備緊急治水対策プロジェクト

ハード対策の行動計画									
取組内容	実施主体	年度							
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
【洪水氾濫を未然に防ぐ対策】									
<小田川>									新川への 通水開始
小田川合流点付替え事業	国								
・仮設工事									
・掘削・築堤									
・貯水池河道整正									
・締切堤撤去									
・橋梁架設									
<小田川>									
堤防強化(浸透対策)	国								
堤防強化(堤防拡幅)	国・市								
<末政川・高馬川・真谷川>									
堤防強化	県								
堤防嵩上げ									
<小田川、末政川・高馬川・真谷川、大武谷川、背谷川、内山谷川>	国・県・市								
河道掘削、樹木伐採による適切な河川の維持管理									継続的に実施
【避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備】									
国・倉敷市が連携・協力し、災害時の応急活動・緊急復旧を迅速に行うための防災拠点の整備	国・市								
危機管理型水位計設置	国								設置完了(6基)
	県								設置完了(3基)

ソフト対策の行動計画									
取組内容	実施主体	年度							
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
【広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知】									
河川管理施設への既往浸水深の表示	国								
指定緊急避難場所を追加したハザードマップの作成	市								2019年度出水期までに作成・全戸配付
まるとまちごとハザードマップの取組の推進	市								
【避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成】									
関係機関と連携した多機関連携型タイムラインの作成	国・県・市								2019年度出水期までに作成・運用開始
タイムラインに基づいた首長等も参加した実践的な訓練	国・県・市								継続的に実施
【防災教育や防災知識の普及】									
ハザードマップ等の活用など地域に即した防災に関する出前講座の実施	国・県・市								継続的に実施
「マイ・ハザードマップ」や「マイ・タイムライン」、地域住民等で作成する「地区防災計画」の作成など住民の早期避難を促す避難体制づくりを推進	市								継続的に実施
教員を対象とした講習会の実施、小学生等を対象とした防災教育の実施	国・県・市								継続的に実施
危機管理型水位計を活用した関係機関等への水位情報のメール配信や、情報入手方法を記載したカード配付	国・県・市								2018年度より危機管理型水位計を活用した水位情報の配信開始
【より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化】									
河川管理者・水防団等による合同巡視を出水期までに実施	国・県・市								継続的に実施
【排水計画(案)の作成および排水訓練の実施】									
要排水箇所への排水ポンプ車の配備や、仮設ポンプ等の導入による排水能力の向上について検討	国・市								継続的に実施

※行動計画(アクションプラン)とは、「真備緊急治水対策プロジェクト」の取組を「いつ」、「だれが」、「なにを」実施するかを定めたものです。

倉敷市真備地区における取組内容と行動計画

取組内容			行動計画					
項目	事項	内容	中国地整		岡山県		倉敷市	
			実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み								
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策								
		<小田川、末政川、高馬川、真谷川、大武谷川、背谷川、内山谷川> ・小田川合流点付替え ・堤防強化 ・堤防嵩上げ ・河道掘削、樹木伐採	<小田川> ・小田川合流点付替え ・堤防強化 ・河道掘削、樹木伐採	2018年度～2023年度	<末政川、高馬川、真谷川> ・堤防強化 ・堤防嵩上げ ・河道掘削、樹木伐採	2018年度～2023年度	<小田川> ・堤防強化 <大武谷川、背谷川、内山谷川> ・河道掘削	2019年度～2023年度
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備								
		応急的な避難場所等の防災拠点整備 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置	倉敷市と連携・協力した災害時の応急活動・緊急復旧を迅速に行うための防災拠点整備 危険箇所、破堤箇所危機管理型水位計を整備【6箇所設置】	2018年度～(検討実施)			国と連携・協力し、災害時の応急活動・緊急復旧を迅速に行うための防災拠点整備	2018年度から検討実施
2)ソフト対策の主な取り組み ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み								
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等								
		避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまちごとハザードマップ整備	想定浸水深、実績浸水深などの管理河川に関する資料提供、及び河川管理施設への既往浸水深の表示	2018年度～			・指定緊急避難場所の追加及び緊急避難場所を明示したハザードマップを作成し全戸に配布するとともに出前講座を活用し周知を図る ・まるとまちごとハザードマップの取組の推進	～2019年出水期 2019年度～
■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成								
		関係機関と連携した多機関連携型タイムラインの作成 タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	多機関連携型タイムラインを出水期までに作成 タイムラインに基づいた首長等も参加した実践的な訓練	～2019年度 2019年度～	多機関連携型タイムラインを出水期までに作成 タイムラインに基づいた首長等も参加した実践的な訓練	～2019年度 2019年度～	多機関連携型タイムラインを出水期までに作成 ・自主防災組織と連携し、住民の避難訓練を実施 ・タイムラインに基づいた首長等も参加した実践的な訓練	～2019年度 2019年度～
■防災教育や防災知識の普及								
		水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催 住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進 教員を対象とした講習会の実施、小学生等を対象とした防災教育の実施 水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	・ハザードマップ等の活用など地域に即した防災に関する出前講座の実施 ・全国の先進的な取組事例の収集・提供 ・教育関係機関への防災教育実施事例等の情報提供 ・危機管理型水位計を活用した関係機関等への水位情報のメール配信 ・危機管理型水位計の情報入手方法(QRコード)を記載したカードの製作・配布	2019年度～ 2018年度～ 2019年度～ 2018年度～	・ハザードマップ等の活用など地域に即した防災に関する出前講座の実施 ・「マイ・ハザードマップ」や「マイ・タイムライン」作成など住民の早期避難を促す避難体制づくりを推進 ・地域住民等により作成する地区防災計画について、自主防災組織等との協力により災害時の円滑な防災活動の体制づくりを推進 ・小・中学校等での防災教育の実施 ・7月豪雨を踏まえた防災教育に向けて授業内容などの見直し検討 ・危機管理型水位計の情報入手方法(QRコード)を記載したカードの配布	2019年度～ 2019年度～ 2019年度～ 2018年度～	・地域における防災訓練の指導やハザードマップ等の活用など地域に即した防災出前講座の実施 ・「マイ・ハザードマップ」や「マイ・タイムライン」作成など住民の早期避難を促す避難体制づくりを推進 ・地域住民等により作成する地区防災計画について、自主防災組織等との協力により災害時の円滑な防災活動の体制づくりを推進 ・小・中学校等での防災教育の実施 ・7月豪雨を踏まえた防災教育に向けて授業内容などの見直し検討 ・危機管理型水位計の情報入手方法(QRコード)を記載したカードの配布	2019年度～ 2019年度～ 2019年度～ 2018年度～
2)ソフト対策の主な取り組み ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取組								
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化								
		河川管理者・水防団等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川管理者・水防団による共同点検を出水期までに実施すると共に、支川で実施される共同点検への支援	2019年度～	・河川管理者・水防団による共同点検を実施	2019年度～	・河川管理者・水防団・災害協力協定業者等による合同巡視を出水期までに実施	2019年度～
2)ソフト対策の主な取り組み ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組								
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施								
		排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	・排水施設の情報共有をおこなうと共に要排水箇所への排水ポンプ車の配備について検討	2019年度～			・仮設ポンプ等の導入による排水能力の向上の検討	2018年度～